

## 細江カトリック教会だより

9月号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

記録破りの暑さが続いた8月が終わり、ようやく秋の気配を感じる9月になりました。学校や幼稚園も2学期に入り、教会にも賑やかさが戻ってきました。

暑かった8月を振り返ってみると、毎年のことながら、過去を振り返る機会が多い月だったと感じます。8月6日の広島、9日の長崎、そして、15日の終戦の日。地元の方、被災された身内をお持ちの方はもちろん、日本全国が喪に服したような月だったとも言えます。

そうした日々の中で、細江教会も、8月5日のサビエル上陸記念碑前での平和のための祈りの集い、そして、8月11日の長府教会での合同慰霊祭と、ともに先人たちの歩みに思いを向け、平和を祈る時を共有した月でもありました。

考えてみると、8月だけではなく、教会は、いつでも、ミサを捧げる度に過去に犯した罪を悔い、それ以上に、神が示してくださった恵みの業を思い、感謝と賛美を捧げています。キリスト教信仰には、こうした「記念」がしっかりと根付いています。記念は、単に、過去を懐かしく振り返ったり、いたずらに自分を責めたりすることではなく、人間

の弱さにも拘わらず、それを受け止め赦してくださる神の限りない愛に心を向けることです。それが、現在の困難な

状況を乗り越える力となり、さらには、予想することのできない未来への希望を生み出す契機となるのです。

ともすれば、早く忘れてしまいたい過去を担って生きるわたしたちですが、

そうした人間を愛をもって受け入れ、期待し、生かし続ける神に信頼をおいて日々生きることができそうです、そして、細江教会がそうした

確信を一層深めて前進できますよう祈ってまいりましょう。4月から、頼もしい助っ人として下関の教会を支えてくださったジョディ神父様は、8月17日下関を離れ、第三修練の行われる米国に向けて出発されました。実りある修練を積み、来年、元気で、霊的エネルギーに満たされて日本に戻ってこられるようお祈りください。

作道 宗三 神父

\*挿絵は以前、キリスト生誕2000年：「アジアに平和を祈る」大聖年の鐘が、ローマから広島教区を経て、ザビエルゆかりの地の山口に据えられた鐘のところに掲げられていた横断幕。  
(山口サビエル記念聖堂敷地内の鐘)



## 地区だより V

## 後田地区

ここは本当に日本かと疑うほどの酷暑の中においても、毎日元気いっぱいの子ども達。朝から彼らのパワーに振り回される私は疲労困憊ですが、それでも夜になると、安らかな寝顔を見ながら「神様、今日もありがとう」と感謝の気持ちで満たされるから不思議です。「Good night かみさま。Good night Guardian Angel(守護天使)。I love you. See you tomorrow!」毎晩そう言って眠る長女、それを真似る長男。2人をとおして、私も大いに救われています。

混沌たる社会の中で、彼らの日常に神様がいること、先日の公式訪問で白浜司教様が仰った、隣にイエス様と聖霊がいることを感じさせることを一番にすべきだな、と心を新たにさせていただいたところです。これから子ども達が益々大きくなり、習い事や部活動等で御ミサに与ることができない日々が訪れるかもしれませんが、三つ子の魂百まで。今、神様との時間を大切に日々過ごし、これから将来、どこへ行こうと、どんな困難に直面しようと、「芯」がブレなければ、きっと大丈夫。祈りを忘れず、神様に向かって歩いていけるように、母として、一信徒として、我が子と教会の子ども達のためにできることをやって行きたいと思えます。

カスターニエーダ 靖代



## 続編 受堅者のことば

堅信式の日のお説教。私の大好きな箇所、「疲れているときは来

なさい。休ませてあげよう。」受洗してから6年間、この御言葉にどれだけ助けられたことでしょうか。辛いときや悲しいとき、目を閉じてこの御言葉を思い浮かべます。そうすると必ずイエス様が両手を大きく広げて迎えてくださる姿が見えます。しばらくそこに身を委ねていると、段々心の波が静まります。

司教さまが仰ったように、これからも神さまにいろいろ報告をして生活の中で神さまが共にいてくださることを感じることができるようになります。

今まで支えてくださった共同体のみなさま、東京から代母になるためだけに来てくれた同級生、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもどうぞよろしくお願ひします。

林 裕子

### 聖体授与の臨時の奉仕者の感想 (前回の奉仕者より)



\* 聖体奉仕の喜びは細江共同体信徒の方々と一致できることです。

粗忽な私ですから、多くの失敗もありましたが、反面たくさん恵みもいただきましたことは、私にとっても大きな恵みでした。

新下関地区 松本 三枝子

\* 私が聖体奉仕者でいいのだろうかと思いつつも研修会に参加させていただき、百瀬神父さまより任命通知書をいただいたのが2年前です。

当番表を手にした日、忘れないようにと帰宅後カレンダーに印を付けました。

そして初日、主人から「落ち着いて頑

張って！]のメールを受け取り教会に。

緊張で指先が震え、とにかくご聖体を落とさないようにと、授けさせていただきました。私事で休み、他の奉仕者の方に助けてもらった日もありましたが、今は無事に務めさせていただけましたこと感謝しております。

これからも教会奉仕のために、この経験をいかしていきたいと思いました。

この2年間ありがとうございました。

中央地区 竹中 和美

＊ 裂いたパンを受ける人の手、小さな手、大きな手。がっしりした手、たおやかな手。ほっそりした手、ふっくらした手。この手はパンをともにして祈る手。

二千年かわらず、私たちはめぐみをこの手にいただいてきたのだと気づかされた二年近くの奉仕でした。

ありがとうございました。

わたしの かたわらにたち  
わたしをみる 美しくみる

(八木重吉詩集より)

後田地区 三井 正憲

## ザビエル上陸記念碑

### 『平和の祈りの集い』8/5 唐戸

8月は6日・9日・15日と、忘れられない日々、忘れてはいけない日々が続く、教会のみならず日本や世界において“戦争と平和”を問いかけ、語り、祈る月です。私たちは今年もザビエル上陸記念碑前で「平和のために祈る」祈りの集いを18時から開きました。

カトリック、プロテスタント、一般、天使幼稚園々児など多くの人びとが、キリストの平和がゆきわたることを願い、愛・ゆるし・一致・信仰・真理・希望・喜びを祈りました

猛暑が続く中、参加する高齢者や園児の体調が心配でしたが、集いが始ま

るころにはカモンワープが大きな日陰をつくり、海風も頬にあたり、無事20分間の祈りを終えました。こどもたちの歌声（かみさまといっしょ／かみさまの愛を）と当日読まれた詩篇のことば（詩篇8-4～9節 あなたの天を、あなたの指の業をわたしは仰ぎます・・・）がいつまでも参加者の心に響いていました。集いに参加されたみなさん、準備に協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

ザビエル上陸記念碑管理委員会  
三井 正憲



＊皆さま、暑い中をありがとうございました。

## 上智大学 STPへの訪問

今年もまた上智大学のSTP (Summer Teaching Program) が開講され、8月3日にお訪ねしました。猛暑の中、タオルを首から下げ、懸命に指導の取り組みをされていたリーダー高橋知穂さん（3年生・宮城県出身）にお話しをうかがいました。

下関の子供たちは「元気」「素直」で勉強がとてもやりやすいとのこと。積極的なので「もっと教えたいと思う」と、同席の他の学生さんたちも口をそろえておっしゃっていました。

今年は、40名弱の子供さんたちが参加していましたが、50回を迎えたこの歴史ある学習会も、この時期の宿泊施設の確保など年々むずかしくなり、今後どうするかが大きな課題になって

いるそうです。

下関の子供たちのために、これからも続けていただきたいとお祈りの応援を約束し、ジュースを差し入れさせていただきました。

大住 昭夫



\*暑いホールで、英語指導の様子。

## 馬関祭り 愛の広場に出店 8/25

当日、午後からは☐マークの天気予報。誰かの行いが良いのか？☀マークに。夕方から例年の如く、長府教会は遊休品、彦島教会はチヂミ、細江教会は焼き鳥等の販売をしました。

細江教会チームは、予想以上に早く売り上げました。各教会の方々、子ども達、準備を含め現地でも関わってくださった信徒の方々に感謝！

旅行中のプロテスタントの方が「カトリック教会も愛の広場（公共の場でのお祭り）に参加するのですか？」と驚いた様子で話しかけられたので、この日の売り上げは全額「愛の献金」に回すこと、私たちの行いが少しでも宣教の活動に繋がれば～と、暫くの間歓談しました。



\*長府教会、彦島教会の様子。

男性の方も活躍していました。



\*汗と煙の中を  
青年とシニア、  
販売者と裏方の方々  
ありがとう！



## 9月の行事

- \* 9/ 9 (日) 9:00 社会教説
- \* 9/15 (土) 祈りの体験 (山口)
- \* 9/16 (日) 敬老祝福
- \* 9/17 (月) 広島教区の日 (岡山)

## 西日本豪雨災害支援

7月～8月までの募金額は

**136,201円**でした。

広島教区へ86,201円、カリタスジャパンへ50,000円を送金しました。皆さまのご協力に感謝いたします。引き続き、被災者のために祈りとお心をお願いします。

## 編集後記

### ・9/1は防災の日

日頃から、避難経路や避難場所を確認して、防災グッズも用意しておきたいものです。いつどこで起きるか分からない災害。一人ひとりのいのちが大切です。

